

J H F 理事会議事録

日 時： 2024年6月5日(水) 18:30~20:00

場 所： J H F 事務局会議室(北区中里1-1-1-301) /ZOOM 会議

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 芦川雄一郎 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎

オンライン (ZOOM) 橋田明夫 濱田 革 竹村治雄

安田英二郎 山口隆文

【監事】 オンライン (ZOOM) 岩村浩秀

(出席理事6名 今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事の一言

竹村理事：システム改修について、郵便料金値上げ前に何とかしたい。

橋田理事：MPG事故が続いている。高齢化もあり有効な対策を考えていく。

山口理事：上級タンデム検定会を開催した。タンデム教本を準備中。

4. 審議事項

第4-1号議案 2024パラグライディングアキュラシー日本選手権開催承認について

濱田理事より、2024年度は山形県南陽市の協力も得て開催申請の説明があった。

2024年パラグライディングアキュラシー日本選手権は10月12日~14日に

山形県南陽スカイパークにて開催する。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

第4-2号議案 教員検定・再検定料の見直しについて

山口理事より、教員スクール事業委員会の要望で教員検定の再検定費用の見直し提案が説明された。教習実技検定は検定員が複数人必要なこともあり、再検定料は10,000円が妥当と考える。

(技能証規程別紙(申請料等一覧) 別表4 検定会検定料(G-2-7-2 総則検定料)を改訂→制度委員会)

教員再検定検定料 教習実技検定は、3,000円→10,000円に改訂する。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

第4-3号議案 システム改修のための契約事務について

竹村理事より、会員管理システム改修はオンライン会員証等の構築、管理業務にかかるコスト削減を検討しており、一般競争入札等が必要はあるが、現システムの一部改修と新規開発部分との結合で多くの労力が必要になる。急務なので開発項目毎に理由書を作成、随意契約で事務手続きを進めたいと説明があった。

安田会長：特定業者と契約した場合は、他の部分も同じ業者へ依頼が必要にならないか？

竹村理事：受注業者がシステムを把握しているから一般に見積もりを出す場合は有利なる。現状では同じ業者に頼むかは確定ではない。

岩村監事：特定業者ありきの随意契約は理由が必要。金額が大きい理由で分けるのは反対。効率も考えて1社にするのであれば理由が必要。

竹村理事：個別に独立した契約で、会員データ、オンラインページ等、現在のデータベースとの連結も必要なので分けると効率がかかる。

岩村監事：個別契約でよいと理事会が承認すれば構わないが少し引かかる。

安田会長：金額が大きくなるから分けるのではなく、開発項目が個別なので個別契約。ただ同一業者になる可能性が高いということですね。

JHFシステム改修は開発項目毎に理由書を作成し随意契約とする。

理由書作成はシステム担当理事が作成し理事会で報告。詳細な開発内容は、システム担当理事、システム管理者、事務局で決定し理事会に報告する。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

5 協議事項

5-1 パラグライディングジュニア世界選手権チームリーダーについて

濱田理事：メール等のやり取りをまとめると、クラウドファンディング案もあったが、ジュニア世界選予算70万円以上は支出しない。チームリーダーは選手と競技委員会で決めてもらう。他にご意見等あればお願いしたい。

竹村理事：統括団体として選手を派遣するから予算を出してチームリーダーも派遣すべき。今回は予算が限られているが、将来的には世界選手権毎にチームリーダー人材育成も考えていきたい。今後は会員会費に寄付を募ることも考えたい。

山口理事：経験が少ない選手でもあるので、本来は委員会、理事会で問題も考えて推薦すべきだった。世界選手権費用等については、領収証は必要であるが、今後は細かい規程を設けて払うべき。現状のままでは余裕があつて時間がある人しかチームリーダーが出来ない。クラウドファンディング等は選手への負担もかかる。現状の予算内で一部負担がよいと思う。

安田会長：クラウドファンディングの利用は今大会では無理である。どういうやり方で、どう使うかルールを決めるべきなので、必要であれば将来議論する。

橋田理事：今回の議題に関して、競技会に多額のお金を使っているが費用対効果はどうかとの意見も出ている。別枠の別会計で補助であれば会員からの不満も出ない。

安田会長：競技選手は各地でハングライダー、パラグライダー界を引っ張っていく人達である。競技支援は競技だけではなく、普及振興にも役立ち意義あるものである。

5-2 技能証規程_IPPIについて

竹村理事より、技能証規程・総則の中のIPPI CARD 対照表について、現在のCIVL 記述に対応した修正案の提案と、今後CIVLのSafeProの文書が改定されても迅速に対応できる方法の検討提案があり、制度委員会に諮問する。

5-3 大学生が卒業後もHG,PGを続けていくための大会について

安田会長からの提案があった学生向け大会等について、濱田理事が各競技委員会、ハングパラ振興委員会へ意見を集め報告があった。学生フライヤー連盟にも報告をして進めていく。

5-4 「空を飛ぶのは楽しいよ！フォトコンテスト」(案)について

ハングパラ振興委員会提案の写真コンテストについて、濱田理事より実施予定の報告があった。

安田会長：よい写真が撮れば自分でSNS等に出しているので集めるのは難しいと感じる。毎年開催のJHFフォトコンテストの1部門として集めてもよい。

橋田理事：補助動力委員会でも映像を募集したが出なかった。自分でアップしている人が多くJHFへの応募は難しいと感じる。

6 報告事項

6-1 フライヤー会員数、技能証発行件数

資料に基づいて確認した。

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。(出席理事)

理事

芦川雄一郎 印

竹村治雄 印

橋田明夫 印

濱田 革 印

安田英二郎 印

山口隆文 印

監事

岩村 浩秀 印

議事録作成人：桜井加代子